

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
1	特定看護師・診療看護師の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・特定看護師（診療看護師）卒後研修の実施 ・2021年4月～特定行為研修修了者2名（ハートセンター、救命センター）を診療看護師とペアにして医師の業務負担軽減、及び看護の質向上のために活動していく。
2	医師の労働時間短縮に向けた取組	<p>男性看護師および女性看護師における 男性患者への尿道カテーテル実施率を調査。</p>
3	看護補助者の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者を積極的に配置し、本来の看護業務が十分発揮できるような環境を整備する。 ・看護補助者の人員確保及び業務分担の見直しの実施。（補助者の増員を見込んだ業務委譲内容）
4	看護記録の業務の効率化を図る取組	<p>①入院支援に関する病棟の負担軽減内容を精査し、効率的な入院前介入を図る ②電子カルテ内の使用していない項目の整理。PDA、アミボイスの使用。 テンプレート活用などで記録時間短縮を図る。</p>
5	医師の外来診療業務の補助	<p>研修後は、予約変更の実施など可能。</p>
6	メッセージ業務の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージ業務の拡大・柔軟な対応への検討継続。高機能マットレスの搬送、ポンプ貸し出し、入院患者荷物搬送など病棟の意向を確認していく。 ・就労支援の職員による業務範囲の拡大について。議事作成支援等により、時間外勤務軽減に反映されていることから、継続する。

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
7	処方・注射オーダーシステムの充実	処方・注射オーダー手順の簡略化、約束処方の導入
8	定時処方の薬剤師による代行入力	内容変更がない定時処方では薬剤師がdo処方オーダーする（集中治療室を除く）。
9	注射カートセット業務の充実	定時注射薬のカートセットを土日を含む365日実施することで、医師についてはオーダー締め切りが緩和される。 看護師はラベルが発効されるとともにカートでの管理が実現する。また、締め切り時間が緩和されることから、中止返品の減少も期待できる。RP毎の薬剤セット実施。
10	入退院支援センター薬剤師業務の充実	介入患者数の拡大
11	病棟で看護師が実施している薬剤関連業務の委譲できる業務の検討	配置薬の管理・補充
12	緊急使用薬等処方薬請求に関する負担軽減	ロボットおよび気送子配送、配置薬の充実等により、薬剤部への医薬品請求負担を軽減する
13	休日対応臨床薬剤師の配置	休日の薬剤関連相談応需、持参薬確認、服薬指導の実施
14	画像センターへの薬剤師配置	放射性医薬品の調製・管理等
15	1日調剤の実施	新規オーダーリングシステムでは、医師の期間処方に対して、1日調剤を実現し、看護師の負担軽減、リスク減少、無駄な医薬品廃棄低減を実現する

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
16	術前外来にて、患者情報、アレルギー情報取得	入院前に正確なアレルギー情報を取得することで、入院初日より安全な食事提供につなげる。今後、入院初日から栄養部でのアレルギー項目の代行入力方法を検討する。
17	入退院支援の推進により、入院前に患者情報、アレルギー情報を取得	入院前に正確なアレルギー情報を取得することで、入院初日より安全な食事提供につなげる。今後、入院初日から栄養部でのアレルギー項目の代行入力方法を検討する。
18	消化器手術目的入院患者の術前体液量測定	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器手術予定患者において、手術前に体液量（In body）測定を実施、栄養状態の評価に用いている。 ・管理栄養士が体液量を測定し、患者に結果を説明し、医師に結果を送っている。今後、他科での栄養相談時の体液量測定の運用を検討する。
19	検査後食の導入	<p>衛生面の問題、食事の無駄削減のため、検査にて定刻に食事がとれない患者に対して、検査後食を提供する。</p> <p>検査後食は簡易的な食品などで構成されており、看護師の食事提供の負担軽減となっている。</p> <p>2020年10月より全病棟（小児科、精神科、救命以外）に拡大した。透析患者の昼食配膳方法の検討を行う。</p>

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
20	適正な人員確保	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士人員増員 ・腫瘍内科の外来化学療法患者に対し、化学療法実施の待ち時間等を利用し、腫瘍センター内での栄養指導の実施を開始、 今後、他科への拡大を予定している。管理栄養士の増員をはかり、特定集中治療室での早期栄養介入管理加算の算定に取り組む。
21	管理栄養士の病棟配置	特定集中治療室での栄養管理体制の整備、管理栄養士が病棟に常駐し、入院患者の食事管理および栄養指導を実施する体制を整備する。
22	リハビリテーション診療体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬・施設基準を満たす人員育成 ・リハビリテーション科医師を診療サポート ・パーキンソン病、人工関節、脊椎、心不全など各センター診療サポート 以上を含めた資格取得・増員・育成計画の実行。
23	病棟業務負担軽減	病棟内リハビリテーション実施件数増加を図り、患者搬送業務のリスクと回数軽減を図る。
24	適正な人員確保	<ul style="list-style-type: none"> ・新入院棟開設を視野に365日体制の整備とスタッフ増員。

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
25	臨床工学技士の積極的な活用	令和元年度より院内の医療機器の所在確認したデータを基にして新病院の医療機器整備に係わる。 新病院への移設機器に関して、コンサル会社を含めた機器整理を継続実施。
26	臨床工学技士の当直要員の増員	新病院開院時、集中治療領域が拡大されるため当直要員の増員が想定される。オンコール業務の整理を行い、他の業務から集中治療領域のオンコール要員になる人材を育成する。
27	ITを活用した医療機器の活用	QRコードをCE管理機器に貼り付け、取扱簡易マニュアルや操作説明動画に容易にアクセスできるようにする。 新規購入機器から順次運用を開始して中央貸出機器に拡大、新病院開院時にはCE管理機器すべてに対応する。
28	検査技師による病棟採血	病棟に検査技師を配置し採血業務を支援する。
29	採血に伴う静脈路確保、電解質輸液の接続、抜針、止血	法改正後に医師の指示の下で可能となる業務である。内視鏡検査時に検査技師が携わることで医師、看護師の業務負担を軽減することが可能となる。
30	検査項目追加時の手順の見直し	検査項目を追加する際の各部署への連絡や指示、研修医による搬送等の手順を見直し、医師の業務負担軽減を図る。

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
31	持ち込み画像情報の取り込み、照会先へのCD作成部門の設立	医師がスムーズに画像データを読影できるように持ち込み画像データのPACSへの取り込み、紹介先へのCD作成業務等専門で行う部門の設置を進める。
32	放射線被ばくの説明と相談	医療被ばく事例報告書を作成。低被ばく化を促進。 線量管理ソフトが新病院で導入予定で、被曝管理を可能にする。
33	撮影部位の確認・追加撮影オーダー	撮影時、患者に撮影部位を確認し、依頼内容と相違や症状について申し入れがあった場合、または撮影によって得られた情報から追加が望ましい場合は主治医に連絡し、追加などの指示を仰ぐ。
34	造影剤投与時の静脈確保および抜針、止血	法改正が検討されており、放射線技師が静脈確保を行える可能性が出てきている。現行法でも抜針は可能であり、再度検討課題とする。
35	入退院業務のサポート体制の強化	入退院支援を更に充実させ、医師・病棟看護師の負担軽減を促進する。 新生児に対する関わりなどを継続して注視していく。
36	手術室麻酔科医師の実施入力業務補助	手術部業務の効率化のため、医事課保険請求経験者を手術室に派遣し、実施登録画面での麻酔方法、麻酔使用薬剤、保険算定術式等の入力業務の補助を行う。
37	医師事務作業補助者の充実	人数を増員し、医師の事務負担軽減を行う。 医師事務負担軽減には、医師事務作業者が代行できる業務が多いため、今後業務の種類を増やし、人員確保と作業場所の確保を進める。

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
38	電話予約変更センターの業務拡充	午前中から予約変更業務を実施する。 予約日変更について手術や検査など患者さんの病態によって変更不可のものもあり、新外来棟移転時までに見直しをする。
39	メディカルコーディネーターの 新規外来・検査予約業務の充実	次期カルテシステムでは、外来患者の予約に関して医師以外の職種が取るようになっており、メディカルコーディネーターを導入することが検討されている。
40	2024年4月からの働き方改革への対応	<ul style="list-style-type: none">・夜間・休日の勤務状況に関する調査を実施する。・2024年4月からの医師の時間外労働上限規制が適用されるに伴い、教員のタイムワークスへの打刻について引き続き周知していく。・臨床系教員へのアンケート実施・日当直表作成前の診療科への調整依頼
41	当直体制の見直し	<ul style="list-style-type: none">・予定上の連続当直の原則禁止・予定手術前日の当直に対する配慮・当直翌日の業務内容に対する配慮・病院勤務医の負担の軽減の改善に資するよう、改善に向けて勤務状況等を把握する。・診療科別の状況把握を行う。アンケートの実施。

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
42	病院勤務医の負担軽減に資する体制の調査	病院勤務医の負担の軽減に資する体制の整備するため、医療従事者業務負担軽減検討委員会で病院勤務医の勤務状況等を把握し、問題点を抽出する
43	プロトコールに基づく看護師による薬剤投与・検査の実施	救急外来・一般外来・内視鏡室における実施内容の明確化と実施に向けた整備
		入院病棟における実施内容の明確化と実施に向けた整備
44	血液浄化装置の操作を安全かつ適切に実施する上で必要となる血液浄化に用いるバスキュラーアクセスの状態についての超音波診断装置を使用した確認	臨床工学技士による、血液浄化に用いるバスキュラーアクセスの機能維持のためのエコー等による評価
45	診療放射線技師法改正による業務拡大の実現	タスク・シフト/シェアを推進し、医師の負担を軽減しつつ、医療関係職がより専門性を活かせるよう業務範囲の拡大を行うこととした。
46	CT室マネージメント業務の改善	CT室のマネージャーが行っていた病棟患者の検査受付業務を画像受付事務に委託した。 さらに緊急単純検査専用PHSを事務側に設置し、マネージャー業務の負担軽減と「検像」業務改善により、画像情報の正確さと緊急性のある画像情報の早期報告に対応する。
47	放射線治療センター業務でのタスクシフト・シェア	全脳照射、および乳房温存療法の位置決め、アイソセンター設定での医師立会い。 初回照射時のリニアックグラフィの一次確認を行う。
48	透視室業務でのタスクシェア	イレウス管、十二指腸チューブ挿入における医師と協働した調整操作を行う。

**聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版**

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
49	法改正にともなう告示研修の推進	法改正で診療放射線技師が行える行為が拡大された。厚労省による告示研修の受講を進めて画像センターの業務体制を見直す。
50	法改正による業務拡大の実現	法改正で救命救急士の業務範囲の見直しが等が行われ、院内で業務が可能となった。厚労省より必要な講習が公示されたので、受講を推進する。
51	医師の負担にならない紹介患者受け入れのスムーズ化	紹介患者の受け入れルールを診療科と調整して、対象の診療科を増やし、専用電話回線を使用することで医師を介さずに、メディカルサポートセンターで紹介患者をスムーズに受け入れる。
52	医師事務作業補助者の充実	人員を増員し、医師の事務負担軽減を行う。 医師事務負担軽減には、医師事務作業補助者が代行できる業務が多いため、今後業務の種類を増やし、人員確保を進める
53	医師の外来診察補助業務の拡大	初診時紹介状の代行入力を行う（診察前又は診察後の入力）。また、脳神経内科の神経学的チャート所見の代行入力を行う。
54	紹介状の初回報告書作成業務の拡大	メディカルサポートセンターから届く紹介状初回未作成リストに、医師事務作業補助者が対応していない9診療科へ介入し、下書きを作成する。

聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画
令和4年度（2022）版

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
55	手術室麻酔科医師の実施入力業務補助	手術部業務の効率化のため、医事課保険請求経験者を手術室に派遣し、実施登録画面での麻酔方法・麻酔使用薬剤・保険算定術式等の入力業務の補助を行う。 今後も麻酔科医師の負担軽減と、手術部に医事課職員が伺うことでコミュニケーションが取れ、診療報酬改正時のなどに変更点を伝えていく。
56	電話予約変更センターの業務拡充	午後から行っていた予約変更業務を、午前中から実施する。予約日変更について、手術や検査など患者の病態によって変更不可のものもあり、新外来棟移転時までに見直しをする。
57	医師の働き方改革への対応	勤務実態調査を分析し、連続勤務制限・勤務間インターバルの導入など、長時間勤務への対応策を検討する。